



CORNER ITALIANO | 公式資料

重要年表

AI の誕生から 2050 年の物語上の転換点まで

事実、要約、規制、シナリオ

改訂英語版本文に準拠・資料の基準時点：2026 年 7 月・資料版 JA-R2.3

<https://www.corneritaliano.com/ja/2050/resources/>

方法 この年表は、本書を読み進める助けとなる節目を選んでいきます。各項目には、歴史的事実または要約、規制上の事実、物語上のシナリオ、著者の提案のいずれかを明示します。技術文献は歴史的事実の中で区別します。2026年7月30日より後の法的な日付には「予定」と記しています。

日付または時期	節目と区分
1950	歴史的事実。Alan Turing は「Computing Machinery and Intelligence」を発表し、「機械は考えられるか」という抽象的な問いを模倣ゲームに置き換え、観察可能な振る舞いへ注意を向けます。
1955-1956	歴史的事実。John McCarthy、Marvin Minsky、Nathaniel Rochester、Claude Shannon がダートマス夏の期研究会の提案を準備し、「人工知能」という表現が新たな研究分野の旗印となります。
1950年代後半	歴史的要約。Frank Rosenblatt のパーセプトロンは、機械が事例から学べるという考えを後押ししますが、ハードウェア、データ、方法にはなお限界があります。
1966	歴史的事実。Joseph Weizenbaum が ELIZA を発表します。規則とキーワードによって、耳を傾けているかのような驚くほど強い印象を生み出す、単純なプログラムです。
1969	歴史的事実と要約。Marvin Minsky と Seymour Papert が単純なパーセプトロンの限界を分析します。その後の AI の冬にも、約束、資金、計算能力、成果の間の隔たりが反映されています。
1969	基盤の歴史。ARPANET が二つのノード間で最初のメッセージを送信し、パケット交換ネットワークを実現するとともに、より広い通信アーキテクチャへの道を開きます。
1983年1月1日	基盤の歴史。ARPANET が TCP/IP への移行を完了します。共通のプロトコル群を通じて異なるネットワークが通信できるようになり、ネットワークのネットワークとしてのインターネットへ向けた決定的な一歩となります。
1986	歴史的事実。David Rumelhart、Geoffrey Hinton、Ronald Williams が、誤差逆伝播法によって多層ネットワークを学習させる方法を示し、大きな影響を与えます。
1989-1991	基盤の歴史。Tim Berners-Lee が 1989 年に CERN で World Wide Web を提案し、最初のブラウザとサーバーを開発します。1991 年にはプロジェクトが研究所の外へ広がり始め、ネットワークをハイパーテキストによる閲覧に開きます。
1997	歴史的事実。Deep Blue が六局の対戦で Garry Kasparov を破り、規則が閉じた領域での計算の力を広く一般に示します。
1990年代から2000年代初頭	歴史的要約。インターネット、Web、モバイルサービスが、ネットワークを専門家の環境から日常の基盤へ変えます。アーカイブ、アイデンティティ、通信、サービスは、相互につながるシステムへの依存を深めます。
2012	歴史的事実。AlexNet が画像処理装置を用いて ImageNet コンペティションで著しく優れた結果を達成し、画像認識における深層学習の加速を明らかにします。
2017	歴史的事実。「Attention Is All You Need」が Transformer アーキテクチャを提示します。これは大規模言語モデルと多くの生成システムの中心となります。
2022年11月30日	歴史的事実。ChatGPT が研究プレビューとして一般公開され、対話型 AI が日常的な規模で利用できるようになります。
2010年代と2020年代	歴史的要約。クラウドサービス、データセンター、API、プラットフォーム、接続された物が結び付き、仕事、医療、行政、移動、情報が依存する、ますます見えにくい基盤を形成します。

日付または時期	節目と区分
2024 年 8 月 1 日	規制上の事実。AI Act として知られる規則（EU）2024/1689 が発効します。規定は段階的に適用され、この日付はすべての義務が一斉に効力を持つことを意味しません。
2025 年 2 月 2 日	規制上の事実。AI Act の禁止行為に関する規定と、当初の AI リテラシー義務の適用が始まります。その後、2026 年 7 月の改正により、第 4 条は AI リテラシーの育成を支援する義務へと改められます。[SRC-S34-001] [SRC-EU-AI-OMNIBUS26]
2025 年 5 月 15 日	歴史的事実、技術規格。W3C が Verifiable Credentials Data Model v2.0、Verifiable Credential Data Integrity 1.0、Securing Verifiable Credentials Using JOSE and COSE を勧告として公表します。[SRC-W3C-VC20] [SRC-W3C-DI] [SRC-W3C-JOSE]
2025 年 7 月 9 日	歴史的事実、技術仕様。OpenID for Verifiable Presentations 1.0 が、クレデンシャルの提示フローの最終仕様となります。[SRC-OID4VP]
2025 年 7 月 10 日	規制上の事実、任意のガイダンス。AI Act への適合を支援するため、General-Purpose AI Code of Practice の最終版が公表されます。この実践規範は任意の手段です。[SRC-S34-021]
2025 年 7 月	歴史的事実、技術規格。NIST が Digital Identity Guidelines、Special Publication 800-63-4 の最終版を公表します。[SRC-NIST-ID4]
2025 年 8 月 2 日	規制上の事実。汎用 AI モデル提供者に対する AI Act 第 53 条の義務が、適用範囲と経過規定に従って適用され始めます。この日付より前に市場投入されたモデルには、より後の適合期限が設けられています。[SRC-S34-001] [SRC-S34-021]
2025 年 9 月 16 日	歴史的事実、技術仕様。OpenID for Verifiable Credential Issuance 1.0 が、クレデンシャルの発行フローの最終仕様となります。[SRC-OID4VCI]
2026 年 6 月 10 日	規制上の事実、任意のガイダンス。Code of Practice on Transparency of AI-Generated Content の最終版が公表されます。マーキングとラベル表示の指針を示しますが、参加するだけで第 50 条への適合が立証されるわけではありません。[SRC-S34-020]
2026 年 7 月 8 日	規制上の事実。AI に関する Digital Omnibus である規則（EU）2026/1744 が採択されます。採択は公表や発効とは異なります。[SRC-EU-AI-OMNIBUS26]
2026 年 7 月 23 日	歴史的事実、技術的枠組み。European Digital Identity Wallet Architecture and Reference Framework のバージョン 3.0.0 が公開されます。この技術的枠組みは実装を支援するもので、法的義務とは区別されます。[SRC-S34-009]
2026 年 7 月 24 日	規制上の事実。規則（EU）2026/1744 が欧州連合官報に掲載されます。[SRC-EU-AI-OMNIBUS26]
2026 年 7 月 27 日	規制上の事実。規則（EU）2026/1744 が発効します。AI Act の義務には引き続き、それぞれの適用日と経過規定が適用されます。[SRC-EU-AI-OMNIBUS26] [SRC-S34-001]
2026 年 8 月 2 日	予定された規制上の日付。第 50 条第 1 項、第 2 項、第 4 項、第 5 項の透明性義務が、例外と経過措置に従って適用される予定です。汎用 AI モデルに対する欧州委員会の執行権限も、この日から適用される予定です。[SRC-S34-001] [SRC-S34-020] [SRC-S34-021]
2026 年 12 月 2 日	予定された規制上の日付。加盟国はプラットフォーム労働指令を国内法化する期限を迎えます。また、2026 年 8 月 2 日より前に市場投入された対象の合成コンテンツシステムの提供者について、第 50 条第 2 項の経過措置が終了する予定日でもあります。[SRC-S34-012] [SRC-EU-AI-OMNIBUS26] [SRC-S34-001]

日付または時期	節目と区分
2026 年 12 月 31 日	予定された規制上の日付。2026 年 4 月 9 日に公表され、2026 年 4 月 7 日に発効した BIS 規則に基づき、指定された Authorized IC Designer の資格と申請の期限がこの日となる予定です。適用は取引と規則の範囲に左右されます。[SRC-BIS-IC-DESIGNER26]
2027 年 8 月 2 日	予定された規制上の日付。2025 年 8 月 2 日より前に市場投入された汎用 AI モデルの提供者が、該当する AI Act の義務へ適合する期限です。[SRC-S34-001] [SRC-S34-021]
2050 年前後	物語上のシナリオ。テーマごとに配置された短い場面は数年にわたります。十四か月と十八か月の間隔はアーシャの物語に属し、六か月後の再審査はマルタとリディア、およびダヴィデに関わります。未来の日付、コスト、時間、数量、能力、地政学的配置はシナリオの設定値であり、予測や観測値ではありません。シナリオには、範囲を限定される、中止される、導入されないプロジェクトも含まれます。
本書の提案	著者の提案。2050 年テスト、証明の最小化、運用ツイン、動的ライセンス、死後のデジタル指示書は、検証し、修正し、または放棄するための道具です。すでに実現した事実でも、統一的な法律でも、予測でもありません。

年表の引用方法

歴史と規制に関する項目は、資料センターの検索可能な文献資料一覧を参照します。追加された節目の情報源は SRC コードで探してください。2050 年前後の場面は物語の設定値であり、予測ではありません。本書の提案を根拠と文脈に照らして検証したうえで、修正するか放棄するかを決めてください。